



PATCH LIVE



USER'S MANUAL 日本語版



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は RODEC PATCH LIVE をご購入いただき、誠に有難うございます。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くため、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

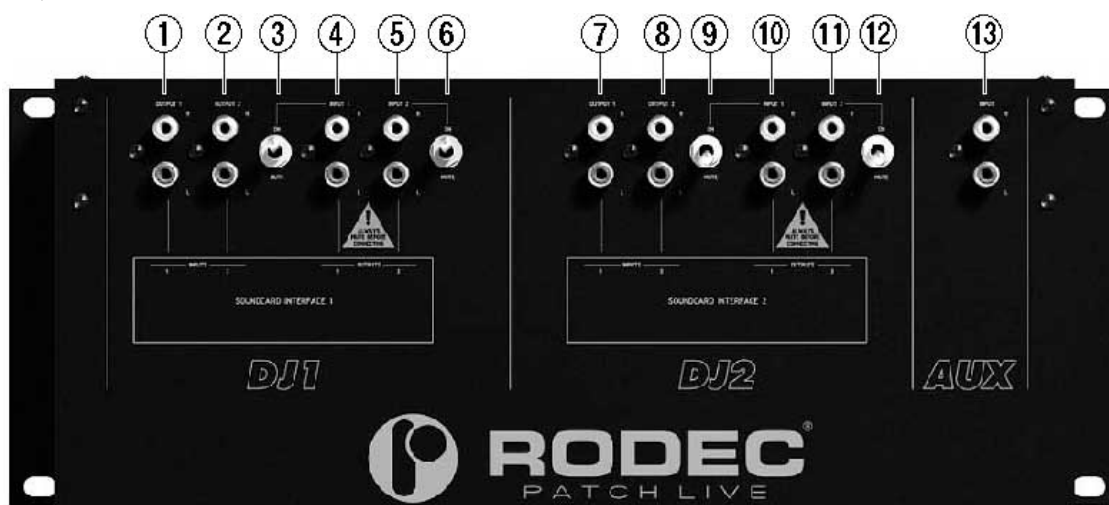
ご使用になる前に取扱説明書をお読みください。

1. 梱包を開き、破損や欠品がないか確認してください。異常がある場合は販売店にご相談ください。
2. 感電防止の為、使用中は部品に触れないでください。
3. 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意ください。
4. 電源ケーブルは機材への挟み込み等、無理な力が加わらないようご注意ください。

万一、本製品に異常や故障が生じた場合はお手数ですが販売店にご連絡ください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

各部の名称と機能

トップパネル



1) DJ1 output 1 connector

デッキ1のタイムコード信号が出力されます。プレーヤー1からPatch Liveへ入力された信号です。一つめのデジタルDJシステム(DJ1)のタイムコード入力へ接続してください。

2) DJ1 output 2 connector

デッキ2のタイムコード信号が出力されます。プレーヤー2からPatch Liveへ入力された信号です。一つめのデジタルDJシステム(DJ1)のタイムコード入力へ接続してください。

3) DJ1 Mute switch 1

DJ1のデッキ1のオーディオ信号をミュートします。

4) DJ1 Music input 1 connector

DJ1のデッキ1のオーディオ信号は、この入力コネクタに接続してください。

5) DJ1 Music input 2 connector

DJ1のデッキ2のオーディオ信号は、この入力コネクタに接続してください。

6) DJ1 Mute switch 2

DJ1のデッキ2のオーディオ信号をミュートします。

7) DJ2 output 1 connector

デッキ1のタイムコード信号が出力されます。プレーヤー1からPatch Liveへ入力された信号です。二つめのデジタルDJシステム(DJ2)のタイムコード入力へ接続してください。

8) DJ2 output 2 connector

デッキ2のタイムコード信号が出力されます。プレーヤー2からPatch Liveへ入力された信号です。二つめのデジタルDJシステム(DJ2)のタイムコード入力へ接続してください。

9) DJ2 Mute switch 1

DJ2のデッキ1のオーディオ信号をミュートします。

10) DJ2 Music input 1 connector

DJ2のデッキ1のオーディオ信号は、この入力コネクタに接続してください。

11) DJ2 Music input 2 connector

DJ2のデッキ2のオーディオ信号は、この入力コネクタに接続してください。

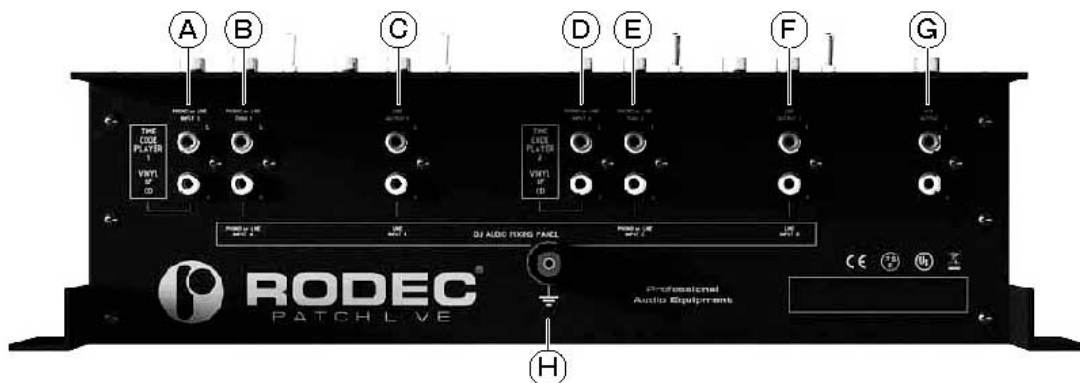
12) DJ2 Mute switch 2

DJ2のデッキ2のオーディオ信号をミュートします。

13) Aux input connector

MP3プレーヤーなどを入力して、DJミキサーへ接続することができます。

バックパネル



A) Phono or line input 1

タイムコードプレーヤー1 を接続してください。ターンテーブルまたは CD プレーヤーのどちらでも入力可能です。

B) Phono or line thru 1

(A)に入力されたデッキ1からの信号を直接出力します。使用するソース（レコードやCD）に応じて、DJ ミキサーのフォノもしくはライン入力へ接続してください。

C) Line output 1

(4)または(10)へ入力されたコンピュータからのオーディオ信号が出力されます。DJ ミキサーのライン入力に接続してください。

D) Phono or line input 2

タイムコードプレーヤー2 を接続してください。ターンテーブルまたは CD プレーヤーのどちらでも入力可能です。

E) Phono or line thru 2

(D)に入力されたデッキ2からの信号を直接出力します。使用するソース（レコードやCD）に応じて、DJ ミキサーのフォノもしくはライン入力へ接続してください。

F) Line output 2

(5)または(11)へ入力されたコンピュータからのオーディオ信号が出力されます。DJ ミキサーのライン入力に接続してください。

G) Aux output connector

(13)へ入力された MP3 プレーヤーなどの信号を出力します。DJ ミキサーのライン入力へ接続してください。

H) Ground-terminal

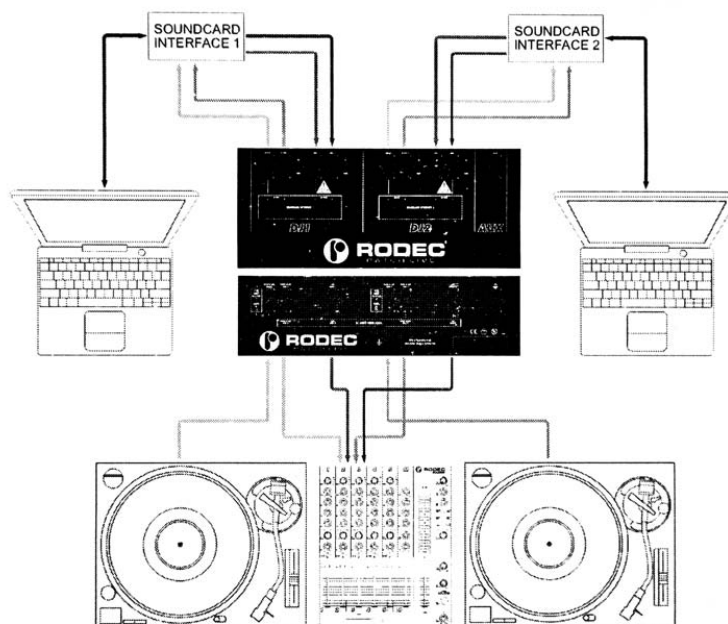
ターンテーブルのアース線を接続してください。さらにこのグラウンド端子と DJ ミキサーのグラウンド端子を接続してください。

注意：それぞれの入出力には 1m 以内のケーブルを使用してください。

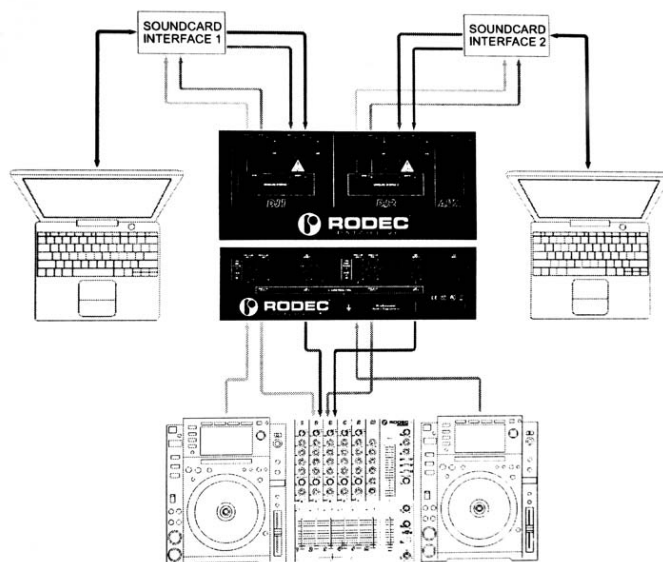
接続例

パッチライブを正しくご利用頂くために、以下の手順を確認してください。

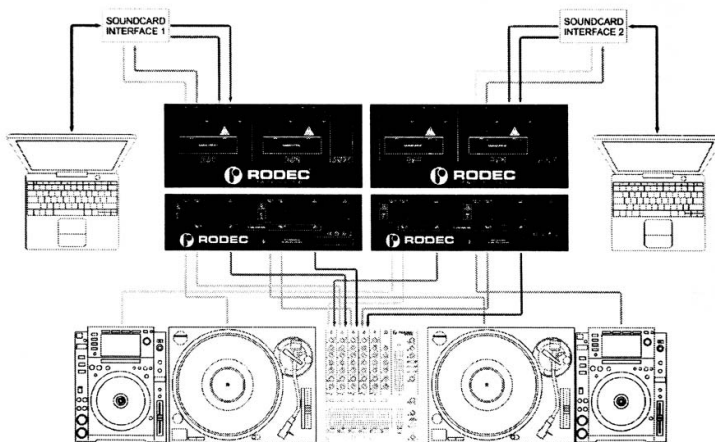
- 1) Patch Live を使用する DJ システムには、アナログターンテーブルと DJ 用 CD プレーヤーのどちらでも接続することができます。アナログターンテーブルを使用する場合、2 台のアナログターンテーブルを [Phono or line input 1 (A)] と [Phono or line input 2 (D)] に接続してください。また [Phono or line thru 1 (B)] を DJ ミキサーの Phono 入力へ接続してください。 [Phono or line thru 2 (E)] も同様に DJ ミキサーへ接続してください。



DJ用CDプレーヤーを使用する場合、2台のCDプレーヤーを[Phono or line input 1 (A)]と[Phono or line input 2 (D)]に接続してください。また[Phono or line thru 1 (B)]をDJミキサーのLine入力へ接続してください。[Phono or line thru 2 (E)]も同様にDJミキサーへ接続してください。



- 2) DJソフトを操作する際に、アナログターンテーブルとDJ用CDプレーヤーの両方が使用される場合は、Patch Liveを2台使用することをお勧めします。1台目のPatch Liveの[Phono or line input 1 (A)]と[同2 (D)]にアナログターンテーブルを接続し、DJミキサーのフォノ入力と[Phono or line thru 1 (B)]と[同2 (E)]を接続してください。さらに2台目のPatch Liveの[Phono or line input 1 (A)]と[同2 (D)]にCDプレーヤーを接続して、DJミキサーのライン入力と[Phono or line thru 1 (B)]と[同2 (E)]を接続してください。



- 3) Patch Live の[Line output 1 (C)]と[同 2 (F)]を、DJ ミキサーの 2 つのライン入力へ接続してください。(Patch Live を 2 台使用する場合は、4 つのライン入力へ接続してください)
- 4) [DJ1 output 1 (1)]と[DJ1 output 2 (2)]を DJ 用オーディオインターフェースの入力と接続してください。[DJ 1 input 1 (4)]と[DJ1 input 2 (5)]を DJ 用オーディオインターフェースの出力と接続してください。
- 5) [DJ1 Mute Switch 1 (3)]と[DJ1 Mute switch 2 (6)]を ON の位置にして、DJ ソフトを起動してください。DJ 用オーディオインターフェースを経由して、DJ ソフトウェアに正しくコントロール信号が届き、正しく出力がされるよう設定してください。詳しくはご利用の DJ ソフトウェアや DJ 用オーディオインターフェースの取扱説明書を確認してください。
- 6) この時点において、コントロール信号で DJ ソフトウェアを使用することができます。
- 7) 2 人目の DJ は以降の手順に添って Patch Live へ接続してください。
 - 7.1) まず接続を行う前に、[DJ2 Mute switch 1 (9)]と[DJ2 Mute switch 2 (12)]を mute にの位置に変更してください。
 - 7.2) [DJ2 output 1 (7)]と[DJ2 output 2 (8)]を DJ 用オーディオインターフェースの入力と接続してください。[DJ2 input 1 (10)]と[DJ2 input 2 (11)]を DJ 用オーディオインターフェースの出力と接続してください。また DJ 用オーディオインターフェースをコンピューターと接続してください。
 - 7.3) このすべての接続が終わってから、最初の DJ は再生を終えた片方のチャンネルを終了することができます。再生を終えたチャンネル(3)または(6)の[DJ1 Mute switch]を MUTE の位置に変更してください。2 人目の DJ はミュートしたチャンネル(9)または(12)の[DJ2 Mute switch]を ON の位置に変更してください。最初の DJ のトラックが終了したら、2 番目の DJ が次のトラックを再生します。その後、[DJ1 Mute switch] (3) または(6)を MUTE の位置に変更します。同じく [DJ2 Mute switch] (9) または(12)を ON の位置に変更してください。2 人目の DJ に完全に交代が完了しました。

- 7.4) 最後に最初の DJ は DJ 用オーディオインターフェースと Patch Live の接続ケーブルを取り外すことができます。
- 8) DJ2 から DJ1 へ戻る場合も同じように接続を行います。
- 9) [AUX output (G)]は DJ ミキサーのライン入力に接続してください。MP3 プレイヤーなどは[AUX input (13)]に接続しミキサーへ送ることができます。
- 10) Patch Live は DJ ミキサーの後ろに設置することができます。Patch Live は DJ ミキサーとの接続部分が隠れるようにデザインされています。誤ったケーブルの抜き差しを防止し、DJ ブースをきれいにまとめることが可能です。
- 11) また Patch Live は 19"または 12.6"に対応する同梱のラック耳によって、DJ ブースへ確実にネジ留めすることができます。

スペック

0dBm = 0.775V RMS

アナログ入力レベル、アナログ出力レベル、ヘッドルーム、周波数特性、ダイナミックレンジなど全てのスペックは、使用する DJ ミキサーやサウンドカードに依存します。

クロストーク	入力チャンネル左右: >39dB @ 1kHz
	チャンネル間: >45dB @ 1kHz
動作温度	-10°C~50°C
動作湿度	5%~90%
寸法	フロントパネル: 310W × 132Dmm
	ボトムボックス: 310W × 45D × 88Hmm
	パネルカットアウト: 320W × 135Dmm
	梱包箱: 390W × 215D × 136Hmm
	重量: 2kg
	梱包重量: 2.5kg

接続例

【内部パネル】 ※各 DJ ソフト共通

- ・ PHONO or LINE INPUT 1 - ターンテーブル/CD プレーヤー” 1”
- ・ PHONO or LINE THRU 1 - DJ ミキサーの PHONO または LINE 入力
- ・ SOUNDCARD LINE OUTPUT 1 - DJ ミキサーの LINE 入力

- ・ PHONO or LINE INPUT 2 - ターンテーブル/CD プレーヤー” 2”
- ・ PHONO or LINE THRU 2 - DJ ミキサーの PHONO または LINE 入力
- ・ SOUNDCARD LINE OUTPUT 2 - DJ ミキサーの LINE 入力

- ・ AUX OUTPUT - DJ ミキサーの LINE 入力

【上部パネル】 ※DJ1 または DJ2 共通

Serato Scratch Live SL1

- ・ OUTPUT 1 - INPUTS / LEFT DECK
 - ・ OUTPUT 2 - INPUTS / RIGHT DECK
 - ・ INPUT 1 - OUTPUTS / LEFT DECK / LINE
 - ・ INPUT 2 - OUTPUTS / RIGHT DECK / LINE
- ※以下のコネクタは Patch Live と接続しません。
- ・ OUTPUTS / LEFT DECK / LINE
 - ・ OUTPUTS / RIGHT DECK / LINE

Serato Scratch Live SL3

- ・ OUTPUT 1 - INPUTS / LEFT DECK 3-4
- ・ OUTPUT 2 - INPUTS / RIGHT DECK 5-6
- ・ INPUT 1 - OUTPUTS / LEFT DECK 3-4
- ・ INPUT 2 - OUTPUTS / RIGHT DECK 5-6

※ SL3 使用時は Scratch Live ソフトウェアでの thru は使用しないで下さい。

Native Instruments Traktor Scratch Pro/Duo (Audio 8 DJ / Audio 4 DJ)

※ Traktor Scratch 付属のマルチコアケーブルを使用して下さい。

- ・ OUTPUT 1 - Player TT/CD
- ・ OUTPUT 2 - Player TT/CD
- ・ INPUT 1 - Mixer Line In
- ・ INPUT 2 - Mixer Line In

※ Audio 8 DJ / Audio 4 DJ との接続は、マルチコアケーブルの表記に従って下さい。

M-Audio conectiv

- ・ OUTPUT 1 - INPUT A
- ・ OUTPUT 2 - INPUT B
- ・ INPUT 1 - OUTPUT A
- ・ INPUT 2 - OUTPUT B

※ MIX A または MIX B のノブは一番右の位置 (USB-A または USB-B) の位置で使用して下さい。

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。